

令和2年 第1回 男鹿市教育委員会会議録

1. 日 時 令和2年2月12日（水）午前10時00分～
2. 場 所 男鹿市役所 3階 第1会議室
3. 出席者 教育長 栗森 貢
委 員 安田 一彦
委 員 吉田 貴美子
委 員 小玉 亜紀子
委 員 三浦 良忠
4. 出席職員 教育次長兼生涯学習室長 目黒 雪子
学校教育課長 加藤 和彦
学校教育課主幹 加賀谷 正人
学校教育課主幹 鎌田 真樹子
5. 案 件
議案第1号
令和2年度学校教育の基本方針（案）及び重点目標と努力事項（案）
について
議案第2号
令和2年度生涯学習の重点目標と施策の方向（案）について
議案第3号
令和元年度教育費3月補正予算について
議案第4号
令和2年度教育費当初予算について
議案第5号
教育委員会事務局組織機構改革（案）について
6. 報 告
(1) 令和元年12月市議会定例会の一般質問等について
(2) 男鹿市小中学校の在り方を考える協議会について
(3) 会計年度任用職員制度について
(4) 令和2年度秋田県教職員人事異動について
(5) 教育委員の選任について
7. その他
8. 閉 会

【議事 午前10時00分開会】

○教育長

ただいまから、令和2年第1回教育委員会会議を開会いたします。

本日の議題につきましては、案件が5件、報告が5件となっております。

令和元年第4回の会議録の承認については、委員の皆様からご署名いただきましたので承認されました。

それでは案件に入ります。初めに、議案第1号 令和2年度学校教育の基本方針（案）及び重点目標と努力事項（案）についてであります。事務局から説明願います。

○学校教育課長

資料に沿って説明

○教育長

ただいま、事務局より説明がありましたが、このことについて、ご質問がありましたらお願いします。

○小玉委員

2 小・中連携の推進で（1）中学校区における教育課題を明らかにし、共通実践を図る。のところです。今年度の「小・中連携による研修の充実を図る。」から具体的になり非常に良いと思うが、共通実践の共通は、中学校同士の共通か、小中学校の共通なのか、その共通の意味を教えてくださいと思います。

○学校教育課長

男鹿市の教育では、小学校、中学校の連携をしていくことをかなり以前からやっています。小・中学校の方では、年に数回、連携の全職員が集まっていますので、その会議の中で中学校区の課題となっていることが明らかになってくる。それを意識して子どもたちを育てていくという、中学校同士の連携ではなく、小学校・中学校の連携ということです。

○小玉委員

わかりました。ありがとうございます。

○教育長

ほかにごいませんか。

意見がないようですので、それでは、議案第1号 令和2年度学校教育の基本方針（案）及び重点目標と努力事項（案）は承認としてよろしいでしょうか。

○委員

はい

○教育長

議案第1号については承認されました。ありがとうございます。

続きまして、議案第2号 令和2年度生涯学習の重点目標と施策の方向（案）についてであります。事務局から説明願います。

○教育次長兼生涯学習室長

資料に沿って説明

○教育長

ただいま、事務局より説明がありましたが、このことについて、ご質問がありましたらお願いします。

○三浦委員

ありません。

○教育長

異議がないようですので、それでは、議案第2号 令和2年度生涯学習の重点目標と施策の方向（案）については承認としてよろしいでしょうか。

○委員

はい

○教育長

議案第2号については承認されました。ありがとうございます。

続きまして、議案第3号 令和元年度教育費3月補正予算についてであります。事務局から説明願います。

○学校教育課長

資料に沿って説明

○教育長

ただいま、事務局から説明がありました、このことについて、ご質問がありましたらお願いします。

○安田委員

ありません。

○教育長

ご質問がないようですので、議案第3号 令和元年度教育費3月補正予算については承認としてよろしいでしょうか。

○委員

はい

○教育長

議案第3号については承認されましたので、令和2年男鹿市議会3月定例会に提案していきたいと思えます。

続きまして、議案第4号 令和2年度教育費当初予算についてであります。学校教育課関係予算について、説明願います。

○学校教育課長

資料に沿って説明

○教育長

続いて、生涯学習室関係予算について、説明願います。

○教育次長兼生涯学習室長

資料に沿って説明

○教育長

ただいま事務局から説明がありましたが、このことについて、ご質問がありましたらお願いします。

○吉田委員

ありません。

○教育長

それでは、ご質問等ないようですので、議案第4号 令和2年度教育費当初予算については承認としてよろしいでしょうか。

○委員

はい

○教育長

議案第4号は承認されましたので、令和2年男鹿市議会3月定例会に提案していきたいと思えます。

続きまして、議案第5号 教育委員会事務局組織機構改革（案）についてであります。事務局から説明願います。

○教育次長

資料に沿って説明

○教育長

ただいま事務局から説明がありました、このことについてご質問はありませんか。

○安田委員

ありません。

○教育長

ご意見等ないようですので、議案第5号 教育委員会事務局組織機構改革（案）については承認としてよろしいでしょうか。

○委員

はい

○教育長

議案第5号は承認されましたので、次回の会議に規則等の改正議案を提出します。続きまして、報告に入ります。

報告（1）令和元年12月市議会定例会の一般質問等について、事務局から説明願います。

○教育次長

資料に沿って説明

○教育長

ただいま事務局から説明がありました、このことについてご質問はありませんか。

○吉田委員

安田議員さんのジェンダーのことについての質問と答弁があったようですが、現在の男鹿市の学校の児童生徒の中で、そういう性同一性障害のような方はおりますか。

○学校教育課長

現時点で、そういう報告は受けていません。

○吉田委員

ありがとうございます。

○教育長

ほかに、ご質問はありませんか。

ご質問がないようですので、続きまして、報告（２）男鹿市小中学校の在り方を考える協議会について、事務局から説明をお願いします。

○学校教育課長

資料に沿って説明

○教育長

ただいま事務局から説明のありました、このことについて、ご質問はありませんか。

○小玉委員

現時点で、意見書はどのくらい届いているか教えてください。

○学校教育課長

どのような反響があるかと期待しておりましたが、現時点では1件です。しっかり受け止めて、この後の計画に活かしていけたらと考えています。

○小玉委員

この後、パブリックコメントも市民の方々に同じような形で行うことになるのでしょうか。

○学校教育課長

現在は協議会の提言に対しての市民の方の感想、意見であるが、今度は来年度になるが、実際に進めていく計画を策定する。策定した案を公表して意見をいただく。今度は私たちに意見をいただく形です。

○小玉委員

意見のいただき方は、今回と同じような形になるのでしょうか。

○学校教育課長

まず、今回のようにホームページには必ず載せます。また、何らかの会合等があった時にはアナウンスしていく。策定の段階で各学校、地区を回って説明することは考えていません。

○小玉委員

今回市の広報に折り込みをして、いいなと思っているが、意見をたくさんいただくのであれば、ダウンロードできる方は限られているので、ホームページからダウンロードしなくても、紙で配布することができれば、ファックス等で広く意見を頂

けるのではないかと思った。次にまたやるのであれば、そういう方法はどうか。

○教育長

貴重なご意見ありがとうございます。その他にありますか。

○教育長

このことについては、慎重に教育委員会だけの考えではなく、市全体の中でも考えながら、なおかつ地域の声も聞きながら進めていきたい。皆さんにご承知いただきたいのは、このことは必ずしも統廃合を念頭においたものではなく、これからの子どもたちが減少傾向にあることは間違いないことなのですが、子どもたちがどういう環境で学ぶことが一番いいのか、また、地域の方が学校がなくなるのは避けたいという気持ちは十分わかることなのですが、子どもたちにとってどんな学びの環境が一番いいのか、丁寧に意見を集約しながら、市としての考えを理解いただきながら、望ましい形で、進めていきたい。皆様にいろいろ地域の声が届くこともあると思うが、反映していただければと思います。

それでは次に報告（３）会計年度任用職員制度についてであります。事務局から説明をお願いします。

○教育次長

資料に沿って説明。

○教育長

このことについて、何かありませんか。

○委員

ありません。

○教育長

では、次に報告（４）秋田県教職員の人事異動についてであります。

本来であれば教育委員の皆様には学校への内示の前に示すのであるが、議会日程の都合もあり、会議日程は新聞発表前の開催となるため、今現在の小中学校の管理職案をお示しする。県教委の中での人事のため、調整中であり確定ではないので慎重に取り扱う事案であります。資料は回収させていただきます。

○教育長

次に、報告（５）教育委員の選任についてであります。

安田委員が５月１０日で任期満了となります。安田委員からは、昨年任期満了をもって退任したい意向を話されて、新たに委員を男鹿中、北浦、入道崎、戸賀の北部方面から市で選任し、３月の議会の最終日に提案し、承認をもらう手続きをしなければならぬ。議会で決定されてから、委員の皆様には電話で連絡させていただきます。

○安田委員

この職に就かせてもらって、誰でも経験できないことを経験させてもらっている。自分のためになり、視野が広がり、成長する貴重な経験をさせてもらっている。ま

だ5月までなので、卒業式、入学式など任期を全うしたいので、ご理解をお願いしたい。

○教育長

以上で報告は終わります。

次に、その他であります。事務局から秋田県学習状況調査、全国体力・運動能力運動習慣等調査について、お願いします。

○学校教育課長

R 1 秋田県学習状況調査（本市の学力の状況）、R 1 全国体力・運動能力 運動習慣等調査（本市児童生徒の状況）の資料により、説明

○教育長

このことについて、ご質問はありませんか。

○委員

ありません。

○教育長

事務局からは以上です。

それでは、その他に何かご意見などありませんか。

○吉田委員

この後、10年か20年かで学校統合に向かっていくと考えられるが、保護者にとって、制服が結構高い。統合した時、新しく作るのか。経過措置で使用できるようにするのかなど主婦目線であるが、転居、通勤などの計画も学校をどこに統合するのかなどにより考えると思う。個人が市役所に意見を書くのは大変なことと思う。協議会の委員などが地域での小ブロックで話し合いがあれば、意見を集めやすいのではないかと思う。

○学校教育課長

この後、意見書を受けて、その通り進めるのではない。小・中学校は今後どうあるべきかを事務局で検討し、計画を作成、案を出して行くことになる。協議会の委員が地域の意見をということは求めている。あくまでもこれからがスタートだという考えである。制服をどうするかなど細かいこともあるが、統合の時には大事なことである、学校をどこに置くか。現時点では、丁寧に進めていくとしか言えない。

○教育長

協議会では、有識者、各地域の方、就学前の保護者など様々な立場、幅広い年代の方などが一堂に集まり、意見を述べてもらった。子どもの人数は、資料として必要で、現状を維持していくことは困難と考えられる。

教育委員会としては、今後男鹿市の教育ビジョンを明確にして、計画の素案に着手していかなければならない。ほかにありませんか。

○小玉委員

若美幼稚園が来年度、新入園児0人である。前に保育園、幼稚園統合の話があったが、その後の何か進展など話せることがあれば教えていただきたい。

○教育次長

若美幼稚園は来年度の園児が11人で、卒園すると残る園児は1人となり、その後の新たな入園も見込めない状況である。

公立の歴史のある幼稚園であり、休園ということも考えられるが協議し、この後、閉園という方向で進める考えである。

○教育長

ありがとうございます。ほかにありませんか。

それでは、以上をもちまして、第1回教育委員会会議を閉会します。

【午前11時20分閉会】